

1. 訪問教育について

訪問教育とは、健康面や様々な理由で、通学することが難しい児童・生徒に対して、教員が家庭や病院などを訪問して行う教育の形態です。

2. 訪問教育の指導について

訪問教育における訪問指導としては、「在宅訪問」、「施設内訪問」の大きく二つに分けることができます。

「在宅訪問」では、通学が困難な児童・生徒の家庭を訪問し、指導を行っています。

また、「施設内訪問」では、隣接する「東京小児療育病院」に入院している児童・生徒を訪問し、指導を行っています。

3. 訪問教育の授業について

授業は、1週間に3回を基本としています。また、1回の訪問授業時間は2時間です。授業は、1対1の個別指導を原則としていますが、幅広い取り組みや指導の充実のために、教員が複数で訪問することもあります。また、学校に登校すること（スクーリング）が可能な児童・生徒には、その機会を保障し、集団の中での取り組みを大切にしています。小学部・中学部・高等部ともに、所属学年やグループとの連携を密にして、授業内容の共有、学年との交流、宿泊や社会見学等の行事への参加の機会を大切にしています。